

JMAセミナーご参加までの流れ

5つの
ステップ

1

お申し込み

まずはホームページへアクセス!!

JMAマネジメントスクール



<https://school.jma.or.jp/>



2

受付

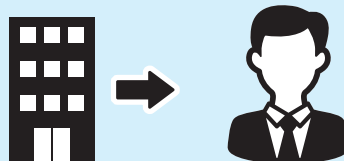
ホームページで
お申し込みを受け付けます。



3

事務手続き

開催約1ヶ月前より受講案内、
請求書をお送りいたします。



4

参加料のお支払い

請求書記載の「お支払い期限」までに
指定の銀行口座へお振込みください。
(振込手数料は貴社にてご負担ください。)



5

開催当日

会場参加の方は、参加証と名刺をご持参
ください。オンライン参加の方は、事前に
ご案内のURLよりアクセスください。



研修ご受講



DX推進

ビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、ビジネスモデル、組織や企業文化、業務プロセスを変革し、競争上の優位性を確立すること、所謂「DX（デジタル・トランスフォーメーション）」が各企業に求められています。

DXを成功させるためには、多くの企業で「D」（デジタル）に注目されがちですが、本来の真意である「変革」、つまり「X」（トランスフォーメーション）が重要で、それ推進する人材の育成がJMAの使命だと考えます。

<JMAの「DX推進」セミナーの特長>

- JMAでは、各社のDX推進人材の育成支援を行うべく、特に「トランスフォーメーション人材」育成のプログラムを提供します。
- DX実現に向けて多くのビジネスパーソンに必要となってくる、思考力やITスキルなどのリテラシーに関して、数多くのラインナップを取り揃えます。

対象	ビジネスモデル変革	組織変革	業務変革
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 1 経営幹部のためのDX戦略実践力養成コース 2 DX時代のマネジメント能力開発コース 3 DX時代のリーダーシップ開発コース 	<ul style="list-style-type: none"> 4 DX推進のための変革リーダーシップ実践セミナー 6 自部門で実践するDX入門セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> 20 RPAを活用した業務改善・業務効率化セミナー
対象	入門・初級	基礎・中級	応用・上級
思考力・ビジネススキル	<ul style="list-style-type: none"> 8 デジタルリテラシー習得講座【ITパスポート（テクノロジ系）出題範囲準拠】 9 苦手意識を克服するデータ分析・統計入門セミナー【初級編】 11 問題解決につながるデータ分析力強化セミナー 13 DX時代に求められる「3つの思考法」入門セミナー 14 デザイン思考入門セミナー 15 アート思考入門セミナー 16 アジャイル思考入門セミナー 17 プログラミング的思考実践セミナー New! 18 レゴ®ブロックで学ぶプロジェクトマネジメント入門セミナー 19 はじめてのプログラミング入門講座 New! 21 生成AIを活用したコスト削減・業務効率化入門セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> New! 7 DX推進の成果可視化セミナー New! 10 データ分析・統計入門セミナー【中級編】 12 DX時代に求められる問題発見力強化セミナー 20 RPAを活用した業務改善・業務効率化セミナー 21 非IT人材のための現場で行うノーコード開発入門セミナー New! 22 生成AI活用実践セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> New! 42 生産ラインに導入するAIによる画像・動画解析入門セミナー 24 メタバース入門セミナー
スキル	<ul style="list-style-type: none"> 25 新入社員のためのPCスキル入門セミナー 26 DX時代を生き抜くPC仕事力向上セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> 27 PCスキル向上セミナー Word編 28 PCスキル向上セミナー PowerPoint編 29 PCスキル向上セミナー Excel基礎編 	<ul style="list-style-type: none"> 30 PCスキル向上セミナー Excelデータ活用編 31 PowerPoint資料作成セミナー【デザイン編】
サイエンスタ	<ul style="list-style-type: none"> 32 ビジネスにつなげるデータサイエンス入門セミナー 34 AI・機械学習に活用するプログラミング入門セミナー 37 JMAデータサイエンス講座〈eラーニング〉 38 ゼロから始めるExcelデータ分析・統計学講座（ブレンデッド・ラーニング） 43 ピープルアナリティクス入門セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> 33 Excelで実践するデータサイエンス基礎セミナー 39 データサイエンス実践講座（ブレンデッド・ラーニング） 40 在庫最適化のためのデータ分析入門セミナー New! 44 人的資本を活かす！人事データ活用ワークショップ 	<ul style="list-style-type: none"> 35 Python・R・SQLを用いたデータサイエンス実践セミナー（Eラーニング付） 36 データ分析実務スキル検定試験（試験対策eラーニング付） 41 人事のためのデータ分析実践コース

1 経営幹部のためのDX戦略実践力養成コース

ID151979

2日間

自社のDXが失敗しないために

「真のDX戦略」を学ぶ

- ◆ 経営幹部として知っておくべきDXの基礎を知り、DX推進の土台を作る
- ◆ 自社や業界の課題・戦略、真のDX推進方法、次世代を担う人材の育成や人材戦略について体系的に学ぶ
- ◆ 様々な他社事例や受講者同士のディスカッションを通して、自社の未来を創るためのDX戦略を構築する

対象	● 部長をはじめとした事業経営者とその候補者 ● 取締役・執行役員・経営幹部の方々 ● DX戦略や企業戦略を担う方
講師	● 櫻井 俊輔 JMA専任講師 ThreeX Design(株) 代表取締役
会期	● 2024年 7月18日(木)～7月19日(金) 東京 ● 2024年11月14日(木)～11月15日(金) 東京 ● 2025年 2月20日(木)～2月21日(金) 東京
参加料(税込)	● 1名につき 法人会員 121,000円 ● 会員外 144,100円

参加者の声

攻めと守りのDXを両利きの経営に模して、お話し分かりやすかった。今後のDXの進め方について、やるべきことが明確になりました。

プログラム		
	1日目	2日目
10:00	経営幹部として知っておくべきDXの基礎を知り、DX推進の土台を作る I 時流とDX編 1. 現在は第4次産業革命の時代 ワーク 自社の属する業界の未来を考える ワーク 未来を見据えた場合の自社の課題を考える 2. DXとはそもそも何か ワーク 自社の「DX推進土壌度」を評価する 3. 真のDXを進めるためには経営幹部の覚悟が必要 ワーク 自社のDX推進ビジョンを言語化する II 守りのDX編 1. 第1歩はデジタイゼーション(デジタル化)から ワーク 自社業務の可視化度合いを考える ワーク 自社のIT推進体制やIT投資をあり姿を考える 2. 守りのDXを支えるデジタル技術・手法と他社導入事例 3. 業務改善・業務効率化を促進するRPA ワーク 自社における守りのDX推進を考える	自社の未来を創るためのDX戦略を構築する III 攻めのDX編 1. デジタイゼーションを目指すことが自社の未来につながる ワーク 攻めのDXIに関するグループディスカッション 2. 既存の産業を脅かすデジタル技術と他社導入事例 ワーク 最新デジタル技術の自社活用アイデアを考える IV 真のDX戦略編 1. DX推進の実行部隊を作り方 ワーク 自社におけるDX推進チームを考える 2. 次世代を担う人材育成・人材戦略 ワーク 自社における人材戦略を考える 3. 真のDX戦略策定 ワーク 自社の「真のDX戦略」をまとめる
17:00		

2 DX時代のマネジメント能力開発コース

ID151671

2日間

新たな価値を生み出す管理職のために

- ◆ 新たな価値を生み出すためには、マネジメントのトランスフォーメーションが求められます。
- ◆ DX時代に成果を生み出すためには、「組織づくり」「目標設定」「計画(達成プロセス)」「メンバー」「コミュニケーション」「動機づけ」の各視点でのマネジメントを革新し、管理者として「自己変革」「組織変革」を実践していくことが重要です。

対象	● 各部門の管理職(マネジャー) ● 部長・課長相当職およびその候補者 ● DX時代のマネジメント能力を身に付けたい方
講師	● 奥田 和広 (株)タパネル 代表取締役
会期	● 2024年 7月11日(木)～7月12日(金) 東京 ● 2024年 9月12日(木)～9月13日(金) 大阪 ● 2024年11月 7日(木)～11月 8日(金) ウライ ● 2024年12月17日(火)～12月18日(水) 東京 ● 2025年 2月 6日(木)～2月 7日(金) ウライ
参加料(税込)	● 1名につき 法人会員 108,900円 ● 会員外 121,000円

参加者の声

「DX時代」をキーに、網羅的にマネジメントに求められるポイントを学ぶことができた。

プログラム		
	1日目	2日目
10:00	1 DX時代のマネジメントとは ● DXで外部環境はどう変化するか ● DX時代に成果を出せる組織とは ● 管理とマネジメントの違いを理解する ● 管理職としてのマネジメントの捉え方 2 価値創造型の組織づくり～顧客視点での価値とは ● これまでの時代とDX時代の顧客視点の違い ● 顧客視点での価値とは何か？ ● 価値創造は継続しなければ生き残れない ● 顧客視点でベクトルを合わせる グループワーク 3 目標設定と達成プロセス～価値を目標に落とし込む ● インプット、プロセス、アウトプット、アウトカムとは ● 目標管理はSMARTからFASTへ変化する ● 組織と個人が高速で学習、達成するプロセスとは ● 目標管理をトランスフォーメーションする グループワーク 4 メンバーの強みを活かす～自律とエンゲージメント ● 指示待ち部下、指示しすぎ上司が組織をつぶす ● 自律人材の「パワー」を引き出すエンゲージメント ● 多様なメンバーのマネジメントと心理的安全性 ● 部下の強みを引き出す「場」づくり グループワーク	5 コミュニケーションと動機づけ～高速成長を促すフィードバック ● 強みに目を向け承認、称賛する グループワーク ● 高速成長のための経験学習3つにポイント ● 成長と学習を支えるフィードバックの作法 ● 効果的な1on1ミーティングとは グループワーク 6 管理者としての自己変革①～自分起点のリーダーシップ ● リーダーとしてリーダーシップを理解する ● 管理偏重を抜け出し組織を動かすリーダーシップへ ● Well-DoingからWell-Beingへ「ありかた」が問われる ● 自分起点、持論を形成する グループワーク 7 管理者としての自己変革②～困難に立ち向かうレジリエンス ● 管理者が困難から身につける力とは ● 挑戦、困難、失敗から学ぶ内省力の鍛え方 ● 困難を乗り越え、力に変えるレジリエンス ● レジリエンスを高める グループワーク 8 管理者としての組織変革～組織文化を醸成する ● 多様性の受容が変革を加速させる グループワーク ● 組織文化を変革する グループワーク ● オープンでフラットな文化を形成する ● 変化に打ち勝つアジャイル思考 9 まとめ ● 明日から何を実践するのか ● 質疑応答
17:00		

3 DX時代のリーダーシップ開発コース

ID151672

2日間

高速で成長するチームをつくる

- ◆ 現場のチームが活性化して価値を生み出すことで、組織全体が勝ち抜くことができます。
- ◆ DX時代においても成果を出し続けるリーダーに必要な「目標設定力」「問題発見力」「メンバー育成力」「コミュニケーション力」「チームワーク力」「自己変革力」を身に付けていただきます。
- ◆ リーダーシップを発揮するための実践的なポイントを、グループワークも交えて修得いただきます。

対象	● 各部門のリーダー(主任・係長)および管理職 ● チームを活性化したい方 ● DX時代のリーダーシップを身に付けたい方
講師	● 奥田 和広 (株)タパネル 代表取締役
会期	● 2024年10月24日(木)～10月25日(金) 東京 ● 2024年12月 5日(木)～12月 6日(金) 大阪 ● 2025年 2月25日(火)～2月26日(水) 東京 ● 2025年 3月13日(木)～3月14日(金) ウライ
参加料(税込)	● 1名につき 法人会員 108,900円 ● 会員外 121,000円

参加者の声

リーダーシップ開発について体系的に理解することができ、明日から実践できる内容を習得することができた。

プログラム		
	1日目	2日目
10:00	1 DX時代に起こる変化とは ● DXは単なるデジタル化ではない ● DXで起こる時代の変化とは ● DX時代に求められるチームとリーダー 2 目標設定力：ビジョンの構想と浸透 ● チームのベクトルを合わせるビジョン ● ビジョンからのバックキャストが成長を生み出す ● ビジョンを伝えるためのストーリーの考え方 ● ビジョンを目標に落とし込む グループワーク 3 問題発見力：問題解決から問題発見へ ● そもそも問題とは何か？ ● 問題解決を超えて問題発見が求められる理由 ● 問題発見力を高める視点の身に着け方 ● チームの問題を発見する グループワーク 4 メンバー育成力：フィードバックで自律を促進 ● 良いフィードバック、悪いフィードバック ショートケース ● 指示待ちを脱却し、部下の自律性をいかに育むか ● 高頻度の1on1フィードバックが成長を生み出す ● 効果的な1on1ミーティングとは ショートケース	5 コミュニケーション力：オープンでフラットな対話 ● 心理的安全性がコミュニケーションの要 ● フラットなコミュニケーションが求められる理由 ● これからのチームは議論から対話へ ● 対話でチームを強くする グループワーク 6 チームワーク力：高速で挑戦する文化 ● 個人の力を超えてチームで成果を出す時代 ● 時代もチームワークも変化し続ける ● 挑戦と失敗から学習するチームへ ● 失敗からいかに学ぶか グループワーク 7 自己変革力：リーダーとして変わり続ける ● フォロワー経験の振り返りから学ぶリーダーシップ ● リーダーシップの起点はつねに自分 ● コンフォートゾーンから抜け出す ● 持論を磨き続ける グループワーク 8 まとめ ● まずは「あなた」から変わることを ● チームの強みを引き出す グループワーク
17:00		

4 DX推進のための変革リーダーシップ実践セミナー

ID151668

2日間

- ◆ 変革を推進するには、新しい時代のリーダーシップを獲得したリーダーとして、人を理解し、巻き込み、チームの能力を引き出し、パフォーマンスの最大化するという「変革」を推進するために、人が変化を担むメカニズムの理解が必要です。
- ◆ それらの理解、必要となる新しい知性を入手して活用する方法と、既存の思考様式では解決できないプロジェクト（難関プロジェクト）を組織や部門の壁を超えてやり遂げるための理論を学び、演習で体得していただきます。

対象	● DX推進部門の方 ● DXプロジェクトの責任者、担当の方 ● これからDXを推進する上で、変革を推進するリーダー
講師	● 中谷 英雄 (株)ピーエム・アライメント 取締役 ビジネスコンサルティング部 部長
会期	● 2024年 6月13日(木)～6月14日(金) 東京 ● 2024年11月12日(火)～11月13日(水) 東京 ● 2025年 2月18日(火)～2月19日(水) オンライン
参加料(税込)	● 1名につき 法人会員 108,900円 ● 会員外 121,000円

参加者の声 組織・人に大きな変化を求めるプロジェクトを推進する際、そのリーダーに求められる条件、活用できる体系ツールなどを紹介いただき、非常に参考になりました。

プログラム	
1日目	2日目
10:00 1 DXの真諦に迫る ● DXの定義 ● 変革とは何を意味するのか ● デジタルの価値とは ● イノベーションを考慮してDXを再定義する 2 2025年の崖の課題振り返りと必要となるデジタル化アーキテクチャー ● 2025年の崖 (経済産業省) ● SORとSOEの違い ● デジタル化に必要な組織機能・体制 ● デジタル化アーキテクチャー 3 新しい時代のリーダーシップ ● 半世紀を超える研究が行き着いたリーダーシップの境地 ● トランザクショナル・リーダーシップ ● トランスフォーメーション・リーダーシップ ● シェアード・リーダーシップ ● リーダーシップは影響力である 4 何故、人と組織は変わらないのか ● 何故、人と組織は変わらないのか ● 免疫マップ ● EQリーダーシップ(実践演習) ● 人の知性に関する事実 ● 知性の3段階の特徴 ● 組織を変える ● 集団レベルの作業を進める手順 17:00	5 組織の壁を超えるリーダーシップ ● 組織の壁を超えるリーダーシップとは ● グローバルでの成功を阻む障害と課題 ● 異文化マネジメントスキルアップ ● 文化の構造 ● ホフステットの6次元モデル ● 異文化カルチャー (実践演習) 6 変革プロジェクトのリーダーシップ ● 変革のリーダーシップとは ● 変革の難しさ ● 変革実行のフレームワーク ● ジョン・コッター8ステップモデル ● 今日の組変革の7つのステップ ● 「技術的問題」と「適応課題」を区別する ● 不均衡の中で生き抜く 7 全員で主体的に働きかけるシェアード・リーダーシップ ● リーダーシップをシェアするという考え方 ● シェアード・リーダーシップの特徴 ● シェアード・リーダーシップが現場で必要となる背景 ● シェアード・リーダーシップの効果 ● 日本企業とシェアード・リーダーシップ 8 自身のリーダーシップスタイルの振り返りと変革・意識改革のシナリオ ● リーダーシップ特論とは ● なぜリーダーシップ特論が有効なのか ● 特論を鍛える 演習 自身のリーダーシップスタイルを振り返る

5 DXの基礎と価値創造セミナー

ID151661

1日

DXを単なるデジタル化で終わらせないために

- ◆ まずDXの本質をとらえていただき、DXを実現するために必要な組織運営モデルやリーダーシップを企業事例から学んでいただきます。
- ◆ 顧客視点とのポイントを押さえたうえで、自社の新規事業開発や収益化を実現し、新たな価値の生かし出し方をワークショップなどを通じて押さえていただきます。

対象	● DX推進部門、経営企画部門の方 ● 新規事業開発を担っている方 ● DX推進による収益化を期待されている方 ● 組織を見直したいリーダー・管理職の方
講師	● 廣瀬 隆彦 CX Value Lab(株) 代表取締役CEO
会期	● 2024年 6月12日(水) オンライン ● 2024年12月18日(水) オンライン
参加料(税込)	● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円

参加者の声 DXの本質を理解できたと共に、今後の新規事業を含めたヒントを得られました。また、ワークショップを行ったことにより、学びの理解を深めることが出来ました。

プログラム	
1日 (9:45～16:45)	
0 自己紹介 ワークショップ	4 と顧客経験価値とは ①とは ②CX戦略とは 演習
1 DXを取り巻く外部環境と課題 ①これからの社会と企業の在り方 ②海外と日本のデジタル化における要点 ③日本や企業におけるDXの課題とは	5 新たな価値を創造する方法とは ①顧客起点の事業モデル化とは ②イノベーション推進における各フェーズの目標とアクション ③企業内起業家：イントレプレナーの素質とは 演習 ④オペレーション
2 DXを実現する組織運営モデルとリーダーシップ ①デジタル化された経営モデルとは ②DXに必要な組織の運営モデルとは ③デジタル時代のリーダーシップモデル	6 まとめ・質疑
3 DXの本質とは ①DXはなぜ行うのか？ ②DXの本質とは何か ③DXに必要な経営資源とは	

6 自部門で実践するDX入門セミナー

ID151651

1日

全社員がDX推進に取り組むために

- ◆ 既存のアナログ業務を単純にデジタル化するだけでなく、最新のデジタル技術を用いて、会社そのものを変革し、これからの時代に生き残り、成長していくための真のDXとは何か。そして、真のDXをどのように推進していけばよいのかをワークを通して学びます。
- ◆ 最新のデジタル技術やその活用例に触れることで、自社・自部門にどのように活用すればよいのかのヒントを得ることができます。

対象	● 管理職・リーダーの方 ● 各部門のDX担当、業務改善担当の方 ● 全社のDX推進担当者
講師	● 櫻井 俊輔 JMA専任講師 ThreeX Design(株) 代表取締役
会期	● 2024年 7月25日(木) オンライン ● 2024年10月25日(金) オンライン ● 2025年 2月 5日(水) オンライン
参加料(税込)	● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円

参加者の声 DXに取り組んでいくための取っ掛かりとして、どんな風に進めていくのが良いかについて大枠を学ぶことができた。

*会期、内容など一部変更の可能性もありますので、ご了承ください。

プログラム	
1日 (9:45～16:45)	
I 基礎知識編	II.DX推進編
1 コロナ禍で変わったデジタル化の必要性 ● 新型コロナで明確になった日本の弱点 ワーク 新型コロナで影響が変わったこと・変わらなかったこと ● 常識が非常識に、非常識が常識になる時代 ほか	1 DX推進の心得 ● DXはCX(会社を作り変えること)である ● 未来を予想し、今はない課題を想像する ● 課題を解決するために自社のリソースや要素技術で何が使えるか考える ● DX推進のビジョンをトップの言葉で社員に語り ワーク DX推進を行う目的やビジョンを考える ほか
2 デジタルトランスフォーメーション(DX)とは何か ● デジタル化が真のDXではない! 真のDXとは? ● DXを成功させる5つのステップ ワーク 自社がどのようにDXに対応できるか考える ほか	2 第1歩はデジタルイゼーション(デジタル化)から考える ● まずはアナログデータをデジタル化することから考える ● 業務フローチャートで業務の流れを可視化する ワーク 自社において何がデジタル化できるか考える ほか
3 既存の産業を脅かすデジタル技術と他社導入事例 ● 5Gがもたらすネットインフラの革新 ● 人工知能(AI)はどこまでできるのか ● 最新ロボット事例と産業界での活用 ● 工場の可視化をすすめるIoTとデジタルツイン ● いままでの常識が非常識になる ほか	3 自部門でDXをすすめるためには ● DXを阻害するものは何か? ● 自部門でDX推進するためのチェンジマネジメント方法 ● DX推進人材増強計画のススメ 4 実践ワーク ● 自社の状況に合わせたDX推進テーマについて企画検討を実施する

10 データ分析・統計入門セミナー [中級編]

NEW ID152508
1日

- ◆ データ分析・統計の基本を理解した人が、実際にデータ分析を行うにあたって、データ分析の標準ステップを理解するとともに、データモデリングの前段階であるデータの理解や準備の仕方を身につけることを目的としています。
- ◆ 予測的データ分析としてExcelを用いた回帰分析の仕方を学んでいただきます。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● データ分析の標準ステップを理解したい方 ● データリテラシーを高めたい方 ● データ分析・統計入門セミナー [初級編] を受講して、さらに学びたい方
講師	● 櫻井 俊輔 JMA専任講師 ThreeX Design(株) 代表取締役
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 8月29日(木) オンライン ● 2024年 12月20日(金) オンライン
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
1 データ分析の標準ステップ <ul style="list-style-type: none"> ● データ分析の基本のおさらい ● データ分析の標準ステップ「CRISP-DM」 	<ul style="list-style-type: none"> ● データの前処理方法 ～データクレンジング～ Excel実践 データをクレンジングしてみよう ● データの前処理方法 ～データの結合～ Excel実践 PowerQueryを用いたデータの結合実習
2 データ分析の入り口となるデータの理解 <ul style="list-style-type: none"> ● ただ調べても時間を浪費するだけになる! ● Excelを用いたデータ理解方法 ～データ分析・統計に使用できる関数～ Excel実践 Excel関数でデータを理解しよう ● Excelを用いたデータ理解方法 ～ピボットテーブル～ Excel実践 ピボットテーブルを活用しよう 	4 データ分析モデルを作るための基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ● 単回帰分析 ● 重回帰分析 Excel実践 単回帰分析・重回帰分析を試みよう
3 データ分析の8割はデータの準備にあり! <ul style="list-style-type: none"> ● データを分析に適した形にする「前処理」 ● データ分析に適さないデータとは何か? 	5 ミニケーススタディ <ul style="list-style-type: none"> Excel実践 「CRISP-DM」のステップでデータ分析を行おう

11 問題解決につながるデータ分析力強化セミナー

ID152138
1日

- 数字は嘘をつかない指標であり、
ビジネスのあらゆる問題解決に有用
- ◆ DX推進が叫ばれる昨今、データ活用やデータドリブン経営がますます求められています。
 - ◆ コンサルタントが使っている問題解決の手法と、そのために必要なデータ分析の考え方やアプローチ方法を学びます。
 - ◆ データ分析で使えるエクセル関数も修得していただき、様々なケースを使ったワークショップを通して、データ分析力を強化していただきます。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● データ分析を業務で行いたい方 ● 仕事でデータ活用を進めたい方 ● 数字に強くなりたい方 ● 問題解決力を強化したい方
講師	● 齋藤 健太 KUROCO(株) 代表取締役
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 6月18日(火) オンライン ● 2024年 10月 9日(水) オンライン ● 2025年 2月12日(水) オンライン
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
1 そもそもデータ分析とは <ul style="list-style-type: none"> ● データ分析で陥っている状況 ● 認識とデータの違いを理解しよう <p style="text-align: right;">ワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 問題解決とデータ分析の関係性 ● データ分析の考え方と進め方 	3 データ分析前の準備体操 <ul style="list-style-type: none"> ● データ分析で使えるエクセル関数 (if, Ooifs, vlookup, correl) ● データ分析で使えるエクセル機能 (ピボットテーブル) ● 必ず見るべき視点 ①実数と推移と比較 ②相関と有意差
2 データ分析のアプローチ方法 <ul style="list-style-type: none"> ● データ分析の6ステップ ● 課題仮説の洗い出しを学ぼう ● データ分析で扱う3種のデータとは ● データ分析の前に算数問題を解こう <p style="text-align: right;">ワーク</p>	4 様々なケースでデータ分析しよう <ul style="list-style-type: none"> ● バン屋の売上を上げよう ● 書籍の販売計画を立てよう ● Webマーケティング戦略を立てよう <p style="text-align: right;">ワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 店舗支援をしよう <p style="text-align: right;">ワーク</p>
	5 データドリブン経営を実現するために

参加者の声 エクセルでデータ解析する必要性から実際の作業や得られた結果をもとに解決策を考えるとところまで、一貫して学ぶことができた。

12 DX時代に求められる 問題発見力強化セミナー

ID151695
4時間

- 「問題解決力」から、
能動的で付加価値を生み出す「問題発見力」へ
- ◆ 「問題解決型」と「問題発見型」の思考回路の違いをおさえ、問題発見型の頭の使い方を理解していただきます。Why型思考による問題発見の仕方を習得し、思考のレベルを上げていただきます。
 - ◆ 講師には、『地頭力を鍛える』『具体と抽象』などのベストセラーがあり、思考に関する研修・セミナーを多く手掛ける細谷功氏が担当します。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 自らの思考のレベルを上げることで仕事の品質を上げたいと考える人 ● 「特に与えられた問題を解決する」から「自ら能動的に問題を発見する」へと転換したい人 ● DX時代に求められる思考力を鍛えたい方
講師	● 細谷 功 ビジネスコンサルタント
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 7月10日(水) オンライン ● 2024年 11月 7日(木) オンライン ● 2025年 2月20日(木) オンライン
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 49,500円 ● 会員外 55,000円

プログラム	
半日 (13:15 ~ 17:15)	
0 イントロダクション <ul style="list-style-type: none"> ● 目的/目標確認 ● 自己紹介 	3 問題発見型への他の思考法 <p style="text-align: right;">グループ演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「具体と抽象」と問題発見 ● 問題発見のための他の思考法
1 問題発見と問題解決の違い <ul style="list-style-type: none"> ● 導入演習 ● 「無知の知」と問題発見 ● 問題解決と問題発見の思考回路の相違 	4 全体まとめ/Q&A <ul style="list-style-type: none"> ● 問題発見のための日常の留意点 ● 全体まとめ・Q&A
2 本質に迫るWhy型思考 <p style="text-align: right;">演習 個人&グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Why型思考とWhat型思考 ● Why型思考の演習 	

参加者の声 知識、経験では視野が狭いということがわかり、視野を広げることが重要だということがわかったので実践していききたいと思います。

*会期、内容など一部変更の可能性もありますので、ご了承ください。

16 アジャイル思考入門セミナー

ID 152090

1日

DX時代のプロジェクトマネジメントを成功させる

- ◆変化が激しいDX時代において、ニーズにあわせて柔軟に、素早く、効率的に開発を進めていく「アジャイル」が注目されており、その適用範囲は開発にとどまらず、組織づくりにまで及んでいます。
- ◆「アジャイル」とは何かを理解した上で、アジャイル開発の代表的な手法である「スクラム」の実践の仕方やプロジェクトマネジメント手法について学びます。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトマネージャー ● DX時代の「企画・開発・実施」手法を学びたい方 ● アジャイル組織へ移行したい方
講師	● 櫻井 俊輔 JMA専任講師 ThreeX Design(株) 代表取締役
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 8月 6日(火) オンライン ● 2024年 12月 13日(金) オンライン ● 2025年 3月 7日(金) オンライン
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円



開発等を素早く・柔軟に取り組む新しい手法を学ぶ事が出来ました。異業種の方々の情報も交えて興味ある内容を学べたと感じます。

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
<p>1 DX時代は何が求められているのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● DXは流行り言葉ではない! ● 今、なぜDXなのか? ● コロナ禍を乗り切った企業にある「アジャイル」マインド ワーク 自社や自業種の現状と未来を考える <p>2 アジャイル思考とは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 従来の代表的な「企画・開発・実施」手法 ● ウォーターフォール型業務推進の限界 ● アジャイル思考・アジャイル開発とは何か ● 従来の手法との違い ● サービス業と製造業のアジャイル例 ワーク 自社の業務の進め方を振り返ってみる <p>3 アジャイル型のプロジェクトマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アジャイル宣言と12の原則 ● アジャイル思考の土台となる「」 ワーク 人中心に考えられていない事例を考える ● アジャイルの代表的な手法「スクラム」 ● 「スクラム」によるプロジェクトマネジメントの全体像 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「スクラム」によるプロジェクトマネジメント実践法 ワーク スクラムによるプロジェクトマネジメント <p>4 アジャイルも守備範囲となったPMBOK7</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトマネジメントのベストプラクティスPMBOK ● PMBOK7と従来のPMBOKの違い ● PMBOK7の5つのポイント ● 8のパフォーマンス領域と12の原理・原則 <p>5 組織をアジャイル化することでDXの推進速度が向上する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アジャイル組織の5つの特徴 ● アジャイル組織のメリット・デメリット ● アジャイル組織に移行するための5つのポイント ● アジャイル開発・アジャイル思考を組織に取り入れた事例 ワーク 自社をアジャイル組織にしていくためにはまず何を必要とするか ワーク アクションプラン策定

17 プログラミング的思考実践セミナー

ID 151652

1日

状況把握力と逆算力の基本を習得し、

生産性を向上させる

- ◆プログラミングの思考を身につけると、煩雑なビジネスのタスクを整理し、簡略化し、効率化し、分かりやすく周囲に説明することが可能となります。
- ◆ビジネスにプログラミング的思考を活用すると考え方がどう変わるのかを、体験しつつ理解していただくことを目的としています。
- ◆ゲームを含むワークを通して状況把握力と逆算力の基本を習得することで、個人・チームの生産性を向上させるノウハウを学びます。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 煩雑なタスクを整理、簡潔化したい方 ● 業務改善を行い、生産性を向上させたい方 ● DX時代の思考法を学びたい方
講師	● 櫻井 俊輔 JMA専任講師 ThreeX Design(株) 代表取締役
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 10月 4日(金) オンライン ● 2025年 2月 6日(木) オンライン
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円



プログラミング的思考の8ステップやスケジュール組み立て演習がとてもよく、日々の業務の仕方を見直すいい機会となりました。

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
<p>1 仕事をコントロールできる人・できない人</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)目について仕事からやっていますか? (2)一生懸命仕事をしているのに、帰れない訳 (3)プログラミング的思考とは? (4)プログラミング的思考のキモは「状況把握力」と「逆算力」 <p>2 「状況把握力」を鍛える</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)状況把握力がすべての土台になる (2)状況を把握している人・していない人 ワーク ロジックパズルで状況把握力を鍛えよう! ワーク 状況把握力を仕事に活かすことを考える (3)段取りの良し悪しで初動が変わる (4)状況把握力を高める基本は観察力 <p>3 「逆算力」を鍛える</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)逆算力が仕事を円滑に進める (2)仕事の中で使う逆算力とは? ワーク アインシュタインパズルで逆算力を鍛えよう! ワーク プログラミング的思考を業務に活かしてみよう 	<p>4 実業務に活かしてみよう!</p> ワーク カレーライス・プロジェクト <ol style="list-style-type: none"> (1)仕事をタスクという単位にする (2)仕事を「プログラミング的思考」で考える8ステップ (3)状況把握力を駆使して効果的な段取りを行う (4)仕事自体の概要を分析するには (5)自分だけのことを考えると優先順位を間違える (6)人はロボットではない! <p>5 実践!業務改善</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)今の業務が正解ではない!業務改善をする余地はいくらでもある (2)AI/RPA時代は人しかできないことを行う時間を作れる人が重要 (3)業務改善の4原則(ECRS) ワーク ケーススタディ (4)業務見える化のポイント ワーク 自分の業務に対して改善可否を検討する

18 レゴ® ブロックで学ぶプロジェクトマネジメント入門セミナー

NEW

ID 152157

2日間

自身の問題点を認知・理解することで、行動変容を促します。

- ◆実体験を通して、リーダーとして必要なスキルを学ぶことで、翌日から実業務に活かせるスキルを習得することができます。
- ◆本セミナーのプロジェクトワークは、品質・コスト・納期に対して明確な顧客要件が設定されているため、より実業務に則した実習内容になっています。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトを推進する方 ● プロジェクトマネジメントの基本を学びたい方 ● チームをまとめるリーダーの方、リーダー候補の方 ● コスト(人材コスト・材料コスト)管理を行う方
講師	● 櫻井 俊輔 JMA専任講師 ThreeX Design(株) 代表取締役
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 9月 4日(水) ~ 9月 5日(木) 東京 ● 2024年 11月 21日(木) ~ 11月 22日(金) 大阪 ● 2025年 2月 13日(木) ~ 2月 14日(金) 東京
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 108,900円 ● 会員外 121,000円

プログラム		
	1日目	2日目
10:00	<p>1 はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常の多くのことがプロジェクトである ● プロジェクトを管理することの必要性 <p>2 チームを向上させるために行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チーム力とは ● チームの中の3つの役割 ● チームビルディングのための5つの要素 <p>3 プロジェクト初期</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトを立ち上げる ● プロジェクトの初期計画 ● 活動の計画 ● マネジメントの計画 <p>4 プロジェクトマネジメント実習①</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトの概要説明 	<p>5 プロジェクト実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マネジメントの実行 ● 活動の実行 ● 監視コントロールの実行 ● 変更管理 <p>6 プロジェクトマネジメント実習②</p> <p>7 プロジェクト後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトの教訓を残し、報告資料を作成する <p>8 プロジェクトマネジメント実習③</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日常業務の中でリーダー/メンバーが求められること <p>9 振り返り&アクションプラン作成</p>
17:00		

19 はじめてのプログラミング入門講座

ID 152109

1日

文系でもわかる! Scratchで学ぶ

- ◆プログラミングの基礎知識を知ること、RPAやノーコード開発などのデジタル技術導入を円滑にすることができる。
- ◆プログラミングを学ぶことで業務手順の可視化や効率化ができる思考を身につける。
- ◆小学生のプログラミング学習にも利用されるScratchを体験し、簡単なプログラミングを作ることができるようになる。

対象	● デジタルリテラシーを身に付けたい方 ● DX時代の業務を円滑に進めたい方 ● Scratchを体験したい方
講師	● 櫻井 俊輔 JMA専任講師 ThreeX Design(株) 代表取締役
会期	● 2024年 8月 1日(木) オンライン
参加料(税込)	● 1名につき 法人会員 62,700円 会員外 74,800円

参加者の声 今日学んだ内容を普段の業務に取り入れて、業務効率化を図りたいと思いました。

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
1 プログラミングができると業務効率上がる!? (1) 実はプログラミングを学ぶと思考がスッキリする (2) 小学生も学んでいるプログラミングの重要性 (3) 業務の可視化・RPA・ノーコード開発を強力に推進するプログラミングの知識 (4) そもそもプログラミングって何?	(4) 同じことを繰り返して、オリジナルキャラを動かそう (5) 条件によって、オリジナルキャラの動きを変えてみよう
2 Scratchって何? (1) Scratchの基本 (2) まずは動くプログラムを作ってみよう (3) Scratchで図形を書いてみよう (4) Scratchでオリジナルキャラを作ってみよう	4 できることの幅を広げるプログラミングの基礎知識 (1) データを格納する箱「変数」と四則演算 (2) 両方満たす「かつ」とどちらかを満たす「または」
3 プログラミングの超基本 (1) プログラムを実行する「イベント」とは (2) プログラムは3つの構造の組み合わせ (3) 処理を順番に行って、オリジナルキャラを操作してみよう	5 もっとプログラミングを学びたい人へ (1) いま、学ぶべきプログラミング言語 (2) プログラミングの学び方

20 RPAを活用した業務改善・業務効率化セミナー

ID 151653

1日

業務を自動化し、生産性を向上させる

- ◆マニュアル化できる業務はすべて自動化できる可能性があります。
- ◆RPAとは何かからはじめ、自社の業務をどのように自動化すればよいのかまで、体系的に学びます。
- ◆すぐに実践できるように、無料で使えるRPAツールを紹介・解説もします。

対象	● 業務改善・業務効率化により生産性を高めたい方 ● RPAを学び、業務に取り入れたい方
講師	● 櫻井 俊輔 JMA専任講師 ThreeX Design(株) 代表取締役
会期	● 2024年 7月 5日(金) オンライン ● 2024年10月21日(月) オンライン ● 2025年 1月23日(木) オンライン
参加料(税込)	● 1名につき 法人会員 62,700円 会員外 74,800円

参加者の声 実際のRPAの作り方を、見せていただいたのが、大変参考になりました。

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
1 今の時代に求められる業務改善・業務効率化とは (1)働き方改革時代に求められる業務のあり方 (2)効率化の選択肢としての自動化(RPA) (3)RPAの活用事例紹介 (4)RPAにできること、向いていること (5)従来のシステム化やAIとの違い (6)RPA導入がうまくいく会社・うまくいかない会社	(3)洗い出した業務を分類する (4)RPA導入効果で生じる余剰時間を何に使うのか?
2 無料で使えるRPAツール(UiPath) デモンストレーション (1)UiPathの特徴と画面構成 (2)UiPathによる業務の自動化デモンストレーション	5 業務フローの作成実践 (1)業務フローを作成する意味とは (2)業務の可視化によるメリット (3)業務フロー作成の基本 【ワーク】業務の流れを可視化してみましょう。 【サンプル業務種】
3 いきなり自動化できるわけではない、まずは業務の可視化が重要 (1)RPA導入のステップ (2)自社業務の洗い出し (3)業務の整理整頓がRPA導入の成否を決める (4)代表的なRPAツール 【ワーク】RPAを導入してどのようなことを実施したいか考える	(4)RPA化を見越した業務フローの改善ポイント 【ワーク】 自部署の業務の改善点を検討する (5)まずは作業レベルをRPA化する
4 自動化(RPA)を見越した仕事の見える化 (1)自部署の業務を洗い出す (2)作業の単調さと総作業時間の2軸で整理する 【ワーク】 自部署のルーティーン業務を洗い出す 【ワーク】 作業の単調さと総作業時間の2軸で整理する	6 無料で使えるRPAツール(Power Automate Desktop) デモンストレーション (1)Power Automate Desktopの特徴と画面構成 (2)Power Automate Desktopによる業務の自動化デモンストレーション
	7 RPAを活用した業務改善・業務効率化を考える 【ワーク】 自部署の業務をフロー図として整理し、RPAを活用した業務改善・業務効率化を考える

21 生成AIを活用したコスト削減・業務効率化入門セミナー

ID 152458

NEW

1日

ChatGPTで、DXを加速させる!

- ◆生成AIを使用することで、単純な業務改善とは比較にならないくらいの業務効率化効果を上げることができます。
- ◆今後の世の中の流れでデジタル技術の未来を理解した上で、生成AIをどのように自社業務に活かしていくかを実機による演習を通して学びます。

対象	● 業務改善・業務効率化により生産性を高めたい方 ● ChatGPTの活用法を学び、業務に取り入れたい方 ● 生成AIを自社業務に活用し、DXを推進したい方
講師	● 櫻井 俊輔 JMA専任講師 ThreeX Design(株) 代表取締役
会期	● 2024年 7月12日(金) オンライン ● 2024年 9月20日(金) オンライン
参加料(税込)	● 1名につき 法人会員 62,700円 会員外 74,800円

参加者の声 ChatGPTに質問する際にロールを与えたり、考えたりするのが億劫だったので、それがテンプレート化しているのありがたい。

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
1 令和の三種の神器 ● 過去の世界・未来の世界 ● DXが上手いかわからない本当の理由 ● 真のDXを推進する「シンカサイクル」 【ワーク】 自社のDX推進の現状を振り返る ● DXを加速させる令和の三種の神器 ● システムづくりを民主化する「ノーコード」 ● ビジネスフィールドを拡張する「メタバース」 ● 人間の力を拡張する第2の脳「生成AI」 【ワーク】 未来における自分自身の姿を考える	● 実習 ChatGPTを使ってみよう ● 実習 シチュエーション別プロンプト例 【ワーク】 ChatGPT実践演習及び実践結果グループ共有
2 AIは敵ではなく、味方だ! ● 「AIによってなくなる仕事・生き残る仕事」の今 【ワーク】 AIに代行してもらえる仕事は何か ● 70年以上研究されているAIの世界 ● Before AIの生き方・働き方 VS With AIの生き方・働き方 ● AIメスト時代に生き残る人の考え方・消える人の考え方 【ワーク】 AIメスト時代に向けて自分はどうに変化すべきなのか	4 生成AI仕事術 ● 生成AIを活用している企業事例 ● 業務で使える生成AIの組み合わせ ● 実習 生成AI仕事術① 情報収集 & 情報分析 ● 実習 生成AI仕事術② アイデア出し & 企画検討 ● 実習 生成AI仕事術③ プレゼン資料作成 ● 実習 生成AI仕事術④ 議事録・レポート・メール作成 ● 実習 生成AI仕事術⑤ 個人専用秘書・メンター役 ● 生成AIをさらに使いこなすには 【ワーク】 自業務や個人でどのように生成AIを使うか
3 ChatGPTを第2の脳にせよ ● 生成AIの代表格「ChatGPT」とはそもそも何か? ● ChatGPTが得意なこと・不得意なこと ● ChatGPTは質問・指示が9割	5 アナログ職場に生成AIを広める5ステップ ● Step1.生成AIを使ったほうがよい業務を限定する ● Step2.すぐに使える利用シーン別プロンプト例文を作る ● Step3.熱心に使っている生成AI推進者候補を仲間にする ● Step4.うまくいった例を積極的に社内共有する ● Step5.ゲーミフィケーション要素を楽しく熱中させる 【ワーク】 生成AIを自社で広めるための具体策を考える
	6 アクションプラン策定

31 PowerPoint資料作成セミナー [デザイン編]

ID 152268

1日

デザインやレイアウトを学び、効果的な資料を作成する

- ◆レイアウトやデザインのポイントを押さえると、より効果的な資料作成を行いことができます
 - ◆PowerPointを使い、1枚に最適な情報配置（デザイン）をするテクニックやレイアウトについて学びます。
- ※PowerPointの基本操作は理解している前提で進めます。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● PowerPoint資料のレイアウト・デザインをよりよくしたい方 ● 「まとめる力」「伝える力」を向上させたい方 ● レイアウトやデザインの基礎を学んで、通常業務に活かしたい方
講師	● 吉田 光広 ブルーフォグ・ソリューション(株) コンサルタント/パートナー ストラテジーデザイン(株) 代表取締役
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 7月18日(木) オンライン ● 2024年12月10日(火) オンライン ● 2025年 3月14日(金) オンライン
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円

参加者の声

デザインの基礎が理解でき、必要な情報を拾い出すポイントが理解できた。講師のアドバイスも有益だった。

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
<p>1 PowerPointの役割と使い方について PowerPointの役割を理解し、どのような使い方ができるのかについて簡単に説明します。</p> <p>2 PowerPointを使って1枚のポスターを作ってみる 1枚のポスターをPowerPointの基本操作を使いながら、必要な情報を多人数に伝えるために作ってみます。相手に伝えるための情報を現在の経験と知識を使って、どのように配置するのかを体験してみます。</p> <p>3 コミュニケーションをする上で必須となる情報整理スキルを学ぶ 人に情報を伝えるためには、コミュニケーションが必ず必要です。1枚のポスターはどのような情報を分解し、整理されて、優先順位をつけているのかを学びます。</p> <p>4 人はどのような情報の切り取り方や表示にすると伝えるのかを学ぶ 人の心理を理解し、ターゲットに対して、注意を引く方法や、見せ方をさまざまな事例を元に、理解を進めていきます。どのようなテクニックがあるの</p>	<p>か、どのようなデザインベースを選択するのが分かるようになると、伝える優先順位が見えてくるのが実感できます。</p> <p>5 色の選択による印象の重要性について学ぶ カラーについてのバリエーションや人に与える印象を学ぶことにより、情報提供の品質が変わることを理解します。</p> <p>6 文字情報をグラフィックに置き換えることで情報の入り込み易さを学ぶ 文字情報を図式化することにより、人の注目や理解を得る方法を学びます。例えば、住所などの文字情報では分かりにくく、注目されない情報を、インフォグラフィックのテクニックで簡単な地図を描くことや強みとなる数値をグラフ化するなどで訴求力を上げます。</p> <p>7 1枚のポスターの変化後を学ぶ パターンチョイスやテクニックにより先ほどのポスターがご自身の作成されたポスターとの印象の差異を確認します。</p> <p>8 質疑応答</p>

32 ビジネスにつながる データサイエンス入門セミナー

ID 151679

1日

データサイエンスに取り組むための課題設定力の向上を目指します。

- ◆データサイエンスには「問い」=知りたいことが重要であることを理解する。
- ◆カスタマージャーニーを理解し、KPIツリーを使って定量化できることを理解する。
- ◆統計学、機械学習の概要を知り、使い分け方を理解する。
- ◆ケーススタディを通じて、実際にデータ活用するまでの流れを理解する。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● データサイエンスに興味のある方 ● データサイエンスに取り組みたい方 ● データサイエンスを初めて学ぶ方
講師	● 株式会社データミックス 講師陣
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 6月14日(金) オンライン ● 2024年10月18日(金) オンライン ● 2025年 1月24日(金) オンライン
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円

参加者の声

データサイエンスに作業として取り組む時の進め方を具体的にイメージできたことがよかったです。

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
<ul style="list-style-type: none"> ● 問い=知りたいことからデータサイエンスは始まる ● カスタマージャーニーとKPIツリー ● データサイエンスの道具箱 - 統計学と機械学習は何が違うの? ● 統計学のポイント ● 機械学習のポイント ● 問いのレベルと手法の関係 ● 【演習】 フレームワークの活用 	

33 Excelで実践する データサイエンス基礎セミナー

ID 151681

2日間

エクセルだけでも、仕事の成果につながる統計解析ができる

- ◆「もう一歩進んだデータ分析をしてみたい」「手元にデータをもっと活用したい」と感じる方におすすめ。
- ◆データサイエンスのスタート地点である、「問い」の立て方、課題設定の向上を目指します。
- ◆統計解析の基礎であるヒストグラム、相関係数、仮説検定、回帰分析といった手法を。ケースを通じて学びます。

対象	● 業務でExcelで関数やピボットテーブルを使ったことがある方
講師	● 株式会社データミックス 講師陣
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 8月27日(火) ~ 8月28日(水) 東京 ● 2024年11月 5日(火) ~ 11月 6日(水) 東京 ● 2025年 2月12日(水) ~ 2月13日(木) 東京
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 108,900円 ● 会員外 121,000円

参加者の声

様々な状況やデータを分析するための方法を教えていただいたことが業務にも生かされると感じた。

プログラム		
	1日目	2日目
10:00	<ul style="list-style-type: none"> ● データ活用のポイントは課題設定 ● 課題設定のための外部環境・競合環境・内部環境の分析 ● シミュレーションでビジネス定量化する ● シミュレーション結果から打ち手の仮説を考える ● アウトプットを考えるための「スケルトン」 ● データ分析のレベル ● 【演習】 小売業のケース 	<ul style="list-style-type: none"> ● データサイエンスの道具箱のおさらい ● 手元のデータをじっくり見てみよう ● 確率とは ● 仮説検定入門 ● 回帰分析入門 ● 【演習】 取引データから営業レポートを最適化する
17:00		

34 AI・機械学習に活用する プログラミング入門セミナー

ID151682

1日

プログラミングを始めて学ぶ方におすすめ

- ◆ データサイエンスを学ぶことを目標として、初學者向けにプログラミングの基本を一緒に手を動かしながら学ぶ
- ◆ Python、R、SQLとデータサイエンスでよく使うプログラミングに慣れる

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラミングに興味のある方 ● プログラミングを初めて学ぶ方
講師	● 株式会社データミックス 講師陣
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 9月18日(水) オンライン ● 2025年 2月 5日(水) オンライン
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
<ul style="list-style-type: none"> ● データサイエンスで、なぜプログラミングが必要なのか？ ● プログラミングとは？ ● Pythonのプログラミング入門(変数、データ型、条件分岐、繰り返し処理、関数) ● Rプログラミング入門 (基本文法、データの読み込みからグラフ描画まで) ● SQL入門 (データベースから条件抽出、グループ集計) 	

参加者の声 PythonやSQLについて全く知識なく、どのように書けばいいかわからなかったので 基礎的な部分を知ることができて良かったです。

35 Python・R・SQLを用いた データサイエンス実践セミナー (Eラーニング付)

ID151684

2日間

データ分析プロジェクトの課題設定からデータ収集、分析、結果を出すまでの流れを理解

- ◆ 実践に即した形でデータハンドリング、データ可視化、統計解析のライブラリや関数を使うようになることを目指します。
- ◆ 課題設定からデータハンドリング、分析、意思決定までの流れを講師と一緒にウォークスルーを行います。
- ◆ データ分析プロジェクトのリアルを体感することで実務での勘所を養います。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● Python、Rのプログラミングの基本文法を理解していること ※ プログラミング入門セミナーを受講済みであることが望ましい
講師	● 株式会社データミックス 講師陣
会期	● 2025年 3月11日(火) ~ 3月12日(水) オンライン
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 121,000円 ● 会員外 144,100円

プログラム							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1日目</th> <th>2日目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 9:45 <ul style="list-style-type: none"> ● Pythonを使ったデータハンドリング <ul style="list-style-type: none"> ● Pythonを使ったデータ可視化 ● 【ショートプロジェクト】 データを可視化して読み解こう ● Rを使ったデータハンドリング ● Rを使った仮説検定と回帰分析 ● 【ショートプロジェクト】 Rを使ったデータ処理 ● SQLを使ったデータハンドリング (JOIN、サブクエリ、CASE式) ● 【ショートプロジェクト】 アプリのログデータを集計してみよう </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 【ウォークスルー①】 UberとLyftの価格を予測する <ul style="list-style-type: none"> ● Pythonを使ったデータハンドリング・データ可視化 ● 機械学習のおさらい ● scikit-learnを使った機械学習のモデリング ● 精度評価 ● データサイエンスの世界からビジネスの世界への意思決定へ ● 【ウォークスルー②】 メーカーのリポート最適化プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ● Rでデータハンドリング・データ可視化 ● 回帰分析のおさらい ● データサイエンスの世界からビジネスの世界への意思決定へ </td> </tr> <tr> <td>16:45</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1日目	2日目	9:45 <ul style="list-style-type: none"> ● Pythonを使ったデータハンドリング <ul style="list-style-type: none"> ● Pythonを使ったデータ可視化 ● 【ショートプロジェクト】 データを可視化して読み解こう ● Rを使ったデータハンドリング ● Rを使った仮説検定と回帰分析 ● 【ショートプロジェクト】 Rを使ったデータ処理 ● SQLを使ったデータハンドリング (JOIN、サブクエリ、CASE式) ● 【ショートプロジェクト】 アプリのログデータを集計してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ● 【ウォークスルー①】 UberとLyftの価格を予測する <ul style="list-style-type: none"> ● Pythonを使ったデータハンドリング・データ可視化 ● 機械学習のおさらい ● scikit-learnを使った機械学習のモデリング ● 精度評価 ● データサイエンスの世界からビジネスの世界への意思決定へ ● 【ウォークスルー②】 メーカーのリポート最適化プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ● Rでデータハンドリング・データ可視化 ● 回帰分析のおさらい ● データサイエンスの世界からビジネスの世界への意思決定へ 	16:45	
1日目	2日目						
9:45 <ul style="list-style-type: none"> ● Pythonを使ったデータハンドリング <ul style="list-style-type: none"> ● Pythonを使ったデータ可視化 ● 【ショートプロジェクト】 データを可視化して読み解こう ● Rを使ったデータハンドリング ● Rを使った仮説検定と回帰分析 ● 【ショートプロジェクト】 Rを使ったデータ処理 ● SQLを使ったデータハンドリング (JOIN、サブクエリ、CASE式) ● 【ショートプロジェクト】 アプリのログデータを集計してみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ● 【ウォークスルー①】 UberとLyftの価格を予測する <ul style="list-style-type: none"> ● Pythonを使ったデータハンドリング・データ可視化 ● 機械学習のおさらい ● scikit-learnを使った機械学習のモデリング ● 精度評価 ● データサイエンスの世界からビジネスの世界への意思決定へ ● 【ウォークスルー②】 メーカーのリポート最適化プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ● Rでデータハンドリング・データ可視化 ● 回帰分析のおさらい ● データサイエンスの世界からビジネスの世界への意思決定へ 						
16:45							

参加者の声 改めて基本的なところが学べてよかったです。データ分析の際にもバイアスが結構あることが再認識できました。

36 データ分析実務スキル検定試験 (試験対策eラーニング付)

ID151685

試験

試験対策eラーニングで事前に学び、データ分析実務スキル検定 (CBAS) をオンライン受験できます。

- ◆ 第4次人材産業革命下で、データ活用人材が最低限知っておくべきとされるITリテラシーからデータサイエンスの基礎知識を問います。
- ◆ 実際のデータ分析プロジェクトの流れに沿って、データ分析実務に必要な知識を整理して作問されています。
- ◆ 実際に企業でデータ分析業務に携わっている実務家11名で問題検討委員会を構成し、シラバスの作成と問題監修が行われています。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスに関する基礎的な知識や分析的思考をもち、データ分析に携わる業務に就くか、担当業務を遂行するに際してデータ分析を活用していこうとする方
試験日	● 2025年 3月25日(火) オンライン
受講・受験料(税込)	● 1名につき 33,000円

プログラム (10:00 ~ 11:30)	
試験対策 eラーニングの学習内容	検定試験の試験方式
<ul style="list-style-type: none"> ● データ分析実務スキル検定の攻略方法と出題範囲の総復習 ● 試験範囲に含まれる統計学や機械学習の知識 ● 試験範囲に含まれるPython、R、SQLといったコンピューター言語の知識 ● 試験範囲に含まれるデータ可視化 (適切なグラフ利用による可視化など) の知識 	<ul style="list-style-type: none"> ● 問題数 : 60問 (多肢選択式) ● 試験方法 : コンピューター上で実施する CBT等のオンライン形式 ● 受験場所 : ご自宅やオフィスからオンライン受験 ● 時間 : 90分 (10:00 ~ 11:30) ● 合格ライン : 97点満点で64点以上

※事前知識として、機械学習や統計学の基礎 (仮説検定、回帰分析、決定木、ランダムフォレストなど)、およびPython、R、SQLの基礎的な内容を理解していること

37 JMAデータサイエンス講座〈eラーニング〉

ID 151990
ビデオ配信

今注目のデータサイエンスをeラーニングで学ぶ

- ◆「データサイエンス基礎」「プログラミング基礎」「機械学習・統計モデル」の3コースで構成。
- ◆申し込み完了後、2営業日以内に「ログインID」「パスワード」を発行いたします。
- ◆受講期間中何度でもご自由に視聴いただけます。
- ◆テキスト・資料は、ウェブ上よりダウンロードいただけます。

講師	● 株式会社データミックス 講師陣	
期間	● 申込日から6ヵ月間+おまけ1ヵ月(合計7ヵ月)	
参加料 (税込)	● 1名につき 各コース	32,780円
	3点セット	87,780円

プログラム		
<p>eラーニング講座 「データサイエンス基礎」 学習範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスフィールドでのAI・データ活用スキル 【学習目安時間：2時間半】 ● Excelで学ぶビジネス統計 【学習目安時間：5時間】 ● Excelで学ぶデータ可視化 【学習目安時間：3時間】 	<p>eラーニング講座 「プログラミング基礎」 学習範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SQL 入門 【学習目安時間：3時間半】 ● R 入門 【学習目安時間：4時間】 ● Python 入門 【学習目安時間：3時間半】 	<p>eラーニング講座 「機械学習・統計モデル」 学習範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機械学習基礎 【学習目安時間：4時間】 ● 統計モデル基礎 【学習目安時間：6時間】 <p>※データ分析プロジェクト実践セミナーについているeラーニングと同じ内容です。</p>

38 ゼロから始めるExcelデータ分析・統計学講座(ブレンデッド・ラーニング)

ID 152309
全8日

- ◆貴社の課題をヒアリングしたうえで、個別の導入セミナーを実施します。
- ◆eラーニングとライブ形式のオンライン講義を通して学び、試験により習熟度を測ります。
- ◆Excelの関数や便利なショートカットなど明日からすぐ使えるテクニックを学べます。
- ◆ピボットテーブルやグラフ作成に留まらない統計学の基礎的な分析手法も学習できます。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● これからデータ分析を学んでいきたい初心者の方 ● 普段の業務でデータを見る機会はあるが、上手く活用しきれていないという感覚がある方 ● PythonやRなどのプログラミング言語までは必要ないと考えている方 	
講師	● 株データミックス講師陣	
参加料 (税込)	● 法人会員 10名まで	814,000円
	11名以上	48,400円/人
	● 会員外 10名まで	869,000円
	11名以上	53,900円/人

プログラム	
全8日	
1 全体講義	<p>導入セミナー (2時間・オンライン) データサイエンスが注目されている理由、講座の内容やスケジュール、学習ゴールなどをお話いたします。</p>
2 個別受講	<p>WEEK1 Excelで学ぶデータ分析入門 (eラーニング) WEEK2 Excelによるデータの集計・可視化 (オンライン・ライブ) WEEK3 統計学入門 (eラーニング) WEEK4 Excelで学ぶ統計学入門1 (オンライン・ライブ) WEEK5 Excelで学ぶ統計学入門2 (オンライン・ライブ) WEEK6 【任意】Excelによる統計学入門+ (eラーニング)</p>
3 試験	<p>CBAS Citizen級 受験 データ分析実務スキル検定 (CBAS) は、ビジネスシーンに必要なデータ分析スキルを証明する検定です。Citizen級はExcelを中心とした分析スキルを問います。</p>

39 データサイエンス実践講座 (ブレンデッド・ラーニング)

ID 152310
全10日

- ◆貴社の課題をヒアリングしたうえで、個別の導入セミナーを実施します。
- ◆eラーニングとライブ形式のオンライン講義を通して学び、試験により習熟度を測ります。
- ◆ビジネスシーンでのデータ活用をリードするための実践的知識・スキルを獲得できます。
- ◆プログラミング未経験、数学が苦手な方でも学べるようeラーニングとオフィスアワーでサポートします。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● AI導入プロジェクトやデータ活用プロジェクトの企画やマネジメントを行っていくビジネスパーソン ● DXの推進、データ戦略の企画・立案、デジタル技術を使った事業企画など、AI・データサイエンスの広範囲な知識が求められるキャリアを目指す方 ● これからデータサイエンティストとしてのキャリアを目指す初心者の方で、データサイエンススキル・知識を浅く広く短期間で学びたい方 	
講師	● 株データミックス講師陣	
参加料 (税込)	● 法人会員 10名まで	2,420,000円
	11名以上	209,000円/人
	● 会員外 10名まで	2,530,000円
	11名以上	220,000円/人

プログラム	
全10日	
1 全体講義	<p>導入セミナー (2時間・オンライン) データサイエンスが注目されている理由、講座の内容やスケジュール、学習ゴールなどをお話いたします。</p>
2 個別受講	<p>WEEK1 ビジネスアナリティクス (オンライン・ライブ) WEEK2 データ分析のためのプログラミング (オンライン・ライブ) WEEK3 プログラミング基礎 (Python,R,SQL) (eラーニング) WEEK4 ExcelとBIツールによるデータ可視化 (eラーニング) WEEK5 Rを使った統計学 (eラーニング) WEEK6 実践演習 (営業データの分析) (オンライン・ライブ) WEEK7 Pythonを使った機械学習・AI (eラーニング) WEEK8 実践演習 (予測モデルの実装) (オンライン・ライブ)</p>
3 試験	<p>CBAS PM級 受験 データ分析実務スキル検定 (CBAS) は、ビジネスシーンに必要なデータ分析スキルを証明する検定です。PM級は、実際のデータ分析プロジェクトの流れに沿って、データ分析実務に必要な知識を問います。</p>

40 在庫最適化のためのデータ分析入門セミナー

ID152378

1日

- ◆AI技術を活用した需要予測と在庫最適化の理解を深める。
- ◆AI技術の利点と具体的な活用方法を理解する。
- ◆AIを用いた在庫管理の最新トレンドや事例を学ぶ。
- ◆データ駆動型の意味決定についての理解を深める。
- ◆AIを活用した在庫最適化の導入に向けたアクションプランを検討する。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● SCM (サプライチェーンマネジメント) 担当者 ● ロジスティクス・在庫管理担当者 ● データ分析担当者 ● マネージャーやリーダー
講師	● アポロ株式会社 講師陣
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年 6月26日(水) オンライン ● 2024年11月13日(水) オンライン
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円

プログラム	
1日 (9:45 ~ 16:45)	
<ul style="list-style-type: none"> ・大量生産・大量販売が行われる物品の需要予測方法・在庫最適化手順を座学理解する。 ・AIベースで、上記手順を演習で体験する中で、より深く理解する。 ・ワークショップの中では、実務を想定した需要予測・在庫最適化テーマに対して、どのような分析、データ、システム、組織等が必要かを想起するワークショップを行う中で、自社内での実務に落とし込む方法を考えてもらう。 	
イントロダクション 自己、会社紹介 需要予測と在庫最適化活用事例 1. 需要予測と在庫最適化の歴史 2. 需要予測と在庫最適化のプロセス・考え方の理解 データ分析座学&個人演習 1. 需要予測のデータ活用のご具体手順(複数事例) 2. 需要予測のAIを活用した実践(手順通りの操作の実行) データ分析座学&個人演習 1. 在庫最適化のデータ活用のご具体手順(複数事例) 2. 在庫最適化のAIを活用した実践(手順通りの操作の実行)	ワークショップ内容・チーム分けの紹介 1. ワークショップ内容の紹介 2. チーム分け発表 3. 自己紹介 ワークショップ 与えられた課題に応じた必要な分析イメージの想起 ワークショップ 実行するためのデータ、システム、アルゴリズムなどの課題や解決策 各チームの発表⇒講評クロージング

41 人事のためのデータ分析実践コース

早割

ID152302

全4日

- ◆人事関係者は、人事情報・データを科学的に分析し、効果的な施策を実践していくことが必要である。
- ◆全4回をオンラインで実施し、毎回、課題提出を実施することを通じて、より実践的なデータ分析スキル、課題解決力を習得していただきます。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 人事・人材開発部門の方 ● 人事データを扱う部門の方
講師	● 深瀬 勝範 Fフロンティア(株) 代表取締役 社会保険労務士
会期	<ul style="list-style-type: none"> ● 2024年9月~10月(全4回) オンライン ● 2024年 9月10日(火) オンライン(1日目) ● 2024年 9月24日(火) オンライン(2日目) ● 2024年10月 8日(火) オンライン(3日目) ● 2024年10月22日(火) オンライン(4日目)
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 198,000円 ● 会員外 231,000円

プログラム				
	1日目 9月10日(火)	2日目 9月24日(火)	3日目 10月8日(火)	4日目 10月22日(火)
13:00	データ分析の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ● 基本統計量の算出 ● データの可視化 ● 統計データ、開示情報の活用方法 【事前課題】 自社の人事管理の課題と解決策 【進め方】 ①ディスカッション：人事の課題と解決策(参加者のプレゼン、意見交換) ②座学：データ分析の基礎(エクセルによる基本統計量の算出、可視化、データの入手)	回帰分析の活用 経営シミュレーション 【事前課題】 自社のデータの収集と経営分析 【進め方】 ①ディスカッション：データを用いた経営分析 ②座学：回帰分析の考え方と活用 ③演習：経営シミュレーション	相関分析 戦略策定の基礎 【事前課題】 シミュレーションによる人件費計画策定 【進め方】 ①ディスカッション：人件費計画と今後の施策 ②座学：相関の考え方と活用 ③座学：戦略策定の基礎(考え方・策定方法)	データ分析に基づく人事戦略の策定 「戦略パートナー」としての人事の役割 【事前課題】 データ分析に基づく人事戦略の策定 【進め方】 ①ディスカッション：自社の人事戦略 ②全体討議・まとめ：これからの人事の役割
17:00				

参加者の声 具体的な人事データに照らし、データ分析手法の活用方法を講義いただいた。実践のイメージがわき、今後の業務に活かせると感じている。

42 生産ラインに導入する AIによる画像・動画解析入門セミナー

NEW

ID152379

1日

- ◆AI技術を活用した不良品検出とその重要性の理解を深める。
- ◆AIによる不良品検出の具体的な手法とその効果を理解する。
- ◆AI導入による生産ラインの最適化と効率化の方法を学ぶ。
- ◆AI技術の導入における成功事例を学び、適用可能な要素を抽出する。
- ◆AI導入に向けた戦略やアクションプランの検討を促進する。

対象	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産管理部門の担当者 ● 品質管理部門の担当者 ● 工場長や生産ラインマネージャー ● 技術革新やデジタル化を推進する方
講師	● アポロ株式会社 講師陣
会期	● 2024年10月23日(水) 東京
参加料(税込)	<ul style="list-style-type: none"> ● 1名につき 法人会員 62,700円 ● 会員外 74,800円

プログラム	
1日 (10:00 ~ 17:00)	
<ul style="list-style-type: none"> ・画像・動画に対してAI処理で出来ることを理解し、簡単な体験を通して、生産工程にAIを組み入れる方法を想起する。 ・ワークショップの中では、生産工程実務を想定したAI活用を行う際に、どのような分析、データ、システム、組織等が必要かを想起する。 ・ワークショップを行う中で、自社内での実務に落とし込む方法を考えてもらう。 	
イントロダクション 自己、会社紹介 不良品検知/稼働状況把握のための動画解析活用事例 1. 一般的な動画解析の流れ 2. 不良品検知の歴史/稼働状況把握の歴史 3. 不良品検知のレポート/稼働状況把握のレポート 4. 一不良品検知のご具体手順(教師あり/教師なし)/稼働状況把握のご具体手順 昼からの予定の紹介 1. ワークショップ内容の紹介 2. チーム分け発表	チームディスカッション 1. 本日チーム演習のお題・チーム分け発表 2. チームディスカッション それぞれの会社の課題、人材データ活用状況 体験演習 候補者1名1名で画像認識実務を体験(手順通りの操作の実行) ワークショップ 与えられた課題に応じた必要な分析イメージの想起 ワークショップ 実行するためのデータ、システム、アルゴリズムなどの課題や解決策 各チームの発表⇒講評クロージング

JMA公開セミナー提案サービスのご案内

「JMA 公開セミナーを活用し、貴社の課題解決にお役立てください」

Step

01

お問い合わせ

- ☑ 新たに研修体系を作りたい
- ☑ 人事制度改訂に伴って、研修体系を見直したい
- ☑ 自己啓発プログラムを作りたい／メニューを充実させたい
- ☑ 数あるセミナーの中から、自社のニーズに最適なものを選びたい
- ☑ 他社交流を積極的に行いたい



Step

02

ヒアリング

お問い合わせにいたった背景、貴社のお悩み、解決したいことなど、さまざまな観点からご質問させていただくとともに、貴社からのご要望をお伺いします



Step

03

ご提案

- 貴社の教育方針、能力要件に合わせた公開セミナーを体系的にパッケージ提案します
- 必要な領域に絞った、カテゴリー別セミナーを提案します
- 公開セミナー選択受講制度を設計します
- 課題に沿った適切なセミナーをピックアップします



まずはお気軽にお問い合わせください

ご相談は
無料です

講師派遣の相談も承っております。

JMAマネジメントスクール



お問い合わせフォームよりご連絡ください

参加申込規定

参加申込方法

- 小会公式HPよりお申込みください(<https://school.jma.or.jp/>)。
※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからのお申込みが難しい方はJMAマネジメントスクールまでお電話(03-3434-6271)にてお問合わせください。
- 参加証・請求書は開催1か月前から発送を開始いたします。なお、1か月以内のお申込みの際は、申込書受領後1週間ほどで参加証・請求書を発送いたします。
- 開催会場については、参加証送付の際にご案内いたします。
- 参加料は請求書に記載されております、「お支払い期限」までに指定の銀行口座へお振込みください。期限までにお支払いいただけないお客様については、ご参加いただけない場合がございますのでご注意ください。なおお支払期日が過ぎてしまう場合は、請求書の「入金連絡票」にてお振込み日のご連絡をお願いいたします。(振込み手数料については貴社にてご負担ください)
- 参加定員等の関係でご参加いただけない場合や、開催内容に変更がある場合は別途、申込責任者の方へご連絡いたします。

キャンセル規定

キャンセル料はお振込の有無にかかわらず下記のとおりです。

キャンセルご連絡日	キャンセル料 (会場参加・ オンライン参加)	日程変更手数料 (年度内一回限り) (会場参加・オンライン参加)
開催15日前～開催8日前(開催当日を含まず)	参加料の10%	無料
開催7日前～前々日(開催当日を含まず)	参加料の30%	合宿:11,000円 通い:5,500円
開催前日および当日	参加料の全額	合宿:宿泊費全額 通い:7,700円

※日程変更手数料は、消費税を否みます。

無断でご欠席された場合も参加料の100%を申し受けます。

※一部セミナーにおいて上記キャンセル規定と異なる場合がございますので、ご確認のうえお手続きをお取りいただきますようお願い申し上げます。

個人情報のお取り扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。小会の個人情報保護方針<https://www.jma.or.jp/privacy>でご確認ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡およびJMA主催の関連催し物のご案内をお送りさせていただく際に利用させていただきます。詳しくは下記に個人情報保護方針を掲載させていただいております。

免責事項

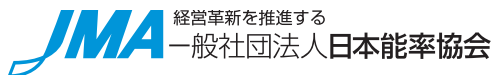
天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます。

注意事項

- 会場での撮影および録音機材のお持ち込みはお断わりいたします。
- 教育研修団体、経営コンサルタント、教育インストラクターの方のお申込みは、お断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。

申 込 先

一般社団法人日本能率協会 JMAマネジメントスクール
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL (03) 3434-6271 受付時間 月～金曜日9:00～17:00
FAX (03) 3434-5505 (ただし祝日を除く)
E-mail seminar@jma.or.jp (URL:<https://school.jma.or.jp>)



プログラムに関する問合せ先

DX推進セミナー事務局

E-mail : dx@jma.or.jp

TEL : 06-4797-2050 (関西事務所内)

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-8-17 大阪第一生命ビル6階